

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社極洋（証券コード:1301）

【据置】

国内CP格付

J-2

■格付事由

- 1937年創立の水産会社。水産物の買付販売を行う水産商事事業並びに同加工食品の製造販売を行う冷凍、常温食品事業を主力としている。他に、冷蔵倉庫を運営する物流サービス事業、鰹・鮪事業なども営む。21/3期を最終年度とする中期経営計画「Change Kyokuyo 2021」では加工食品や海外事業の強化などを掲げており、その進捗には一定の成果がみられる。
- 今後も底堅い業績を維持できるとみている。水産商事事業は市況変動の影響を受けやすいが、順調な販売や適切な仕入れ管理などにより、収益変動は一定程度抑制されている。また、加工食品の分野では調理の簡便化ニーズに対応した商品群の展開などが奏功し、拡販が進んでいる。人件費や物流費の増加などが懸念されるものの、拡販や生産性改善の取り組みを考慮すれば、大幅な採算悪化は見込みにくい。財務構成には依然改善の余地があるものの、自己資本の蓄積により緩やかに良化していくと想定している。以上を踏まえ、格付を据え置いた。
- 20/3期の営業利益は29億円（前期比23.8%減）となった。冷凍、常温食品事業の利益は改善したものの、水産商事事業と鰹・鮪事業における市況のマイナス影響が全体業績を下押しした。21/3期の会社計画営業利益は42億円（同43.9%増）。足元では新型コロナウイルス感染拡大による外食向け需要の落ち込みがみられるが、量販店向けが堅調に推移し一定程度カバーされているもようである。ただし、今後の外食産業の回復や消費動向の不透明感は強く、引き続き注意を要する。
- 20/3期末の自己資本比率は29.4%（19/3期末は27.7%）。在庫の絞り込みによりキャッシュフローが改善し、有利子負債は減少に転じた。今後もきめ細やかな在庫管理を進めることで、運転資金の増加は抑制されるとみている。また、今後も生産能力増強に向けた設備投資が予想されるが、おおむね当社のキャッシュフローで賄えるとみられる。

（担当）井上 肇・坪井 悠祐

■格付対象

発行体：株式会社極洋

【据置】

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	100億円	J-2

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2020年6月18日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：井上 肇
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「食品」(2011年7月13日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社極洋
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル